



～「楽水乐山」～ の由来

住田高校を象徴するものとして、気仙川、清流、樺山、五葉山など住田の地形に関するものがあげられます。また、爽やか、活気、元気、挨拶など、生徒や学校の生き生きとした様子を表すものもあげられます。そこでこの両者を含み、本校の教育活動にも相通ずる意味を持つものとして、孔子の『論語』の「知者楽水、仁者乐山」（知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ）を引用し、造語「楽水乐山」を作りました。「知者」とは、物事の本質を見抜き道理に達した人の意味であり、「仁者」とは仁徳を備えた人の意味です。この後、論語は「知者動、仁者静、知者楽、仁者壽（知者は動的であり、仁者は静的である。知者は人生を楽しみ、仁者は人生を長生きすることになる。）」と続きます。

1 令和2年度入学式



《梅の花も新生を歓迎しています》



《呼名に元気に返事をする新入生》



《式辞を述べる菅野誠二校長》



《新入生代表 鎌田祥輝さん 誓いの言葉》



《真剣な様子で式に臨む新入生のみなさん》



4月8日（水）、令和2年度の入学式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、新入生・保護者・教職員のみで行わざるを得ませんでした。高校生活への大きな希望と一抹の不安を胸に、新入生男子18名、女子14名、計32名が輝かしい高校生活のスタートを切りました。

菅野誠二校長からは、「住田高校では生徒一人ひとりに役割があり、活躍できる機会や場所がある。高校生活で、自分自身を認め、大切に、自分に価値観を持てる自己肯定感を培って、希望と幸せを追い求める人になって欲しい。」というメッセージが送られました。

新入生代表の鎌田祥輝さん（綾里中出身）からは、「校訓である『自主』『創造』『至誠』、伝統である『さわやかな挨拶』『きちんとした服装・態度』『まじめな仕事ぶり』をしっかりと意識して行動し、ボランティアへの参加や地域行事への参画を通して社会や地域に貢献できる住田高校生になれるように努力します。」との力強い誓いの言葉がありました。

大変な状況の中での入学式でしたが、新入生の皆さんを無事迎えることができほっとしています。これからの活躍を期待しています。

2 対面式・部紹介



《新生生の自己紹介》



《新入生代表挨拶
山口万凜さん》



《3年生クラス代表挨拶》



《アーチェリー部》



《硬式野球部》



《ソフトテニス部》



《バレーボール部》



《陸上競技部》



《パソコン部》



《バスケットボール部》



《吹奏楽部》



《住高ハウス〇〇スタッフの皆様》

4月9日（木）、対面式と部紹介が行われました。新入生と在校生が初めて顔を合わせ、いよいよ令和2年度新生住田高校の幕開けです。まず、生徒会執行部から学校行事等の説明があり、次に新入生一人ひとりからの自己紹介、そして新入生を代表して山口万凜さん（赤崎中出身）が決意表明をしました。その後は、先輩達による部紹介が行われました。新型コロナウイルスの影響で部活動も休止になり、準備する時間もなかったにもかかわらず、各部とも堂々と立派に部紹介を行っていました。部紹介後は、住田町教育委員会の佐々木伸也教育次長補佐さん、教育コーディネーターの小宅優美さん、小向はるかさん、若林詩織さん、住高ハウス〇〇スタッフの奈良朋彦さんから、住高ハウス〇〇の紹介と住高チャレッジ部についての説明がありました。新入生の皆さんには、何事にも積極的に取り組んで、有意義な高校生活を送ってほしいと思います。

3 お知らせ（令和元年度卒業生の進路状況）

【進学】

東北学院大学〔経済学部経済学科〕、盛岡大学〔文学部英語文化学科〕、ノースアジア大学〔経済学部経済学科〕、西武文理大学〔サービス経営学部〕、盛岡大学短期大学部〔幼児教育学科〕、上尾中央医療専門学校〔作業療法学科〕、北日本医療福祉専門学校〔薬業科〕、日本医科大学看護専門学校〔看護専門課程〕、蕨戸田市医師会看護専門学校〔看護学科〕、盛岡医療福祉スポーツ専門学校〔介護福祉学科〕・〔心理福祉学科〕、北上コンピュータ・アカデミー〔コンピュータ・システム科〕、北日本医療福祉専門学校〔こどもマイスター養成科〕、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ〔高度調理科〕・〔製菓衛生師科〕、埼玉コンピュータ&医療事務専門学校〔電子カルテコース〕、仙台スイーツ&カフェ専門学校〔スイーツパティシエ科〕、仙台ビューティーアート専門学校〔美容科〕、仙台リゾート&スポーツ専門学校〔スポーツトレーナー科〕・〔スポーツビジネス科〕、ミス・パリ・ビューティ専門学校大宮校〔美容学科〕、盛岡医療福祉スポーツ専門学校〔医療事務学科〕、盛岡ヘアメイク専門学校〔ビューティーセラピスト科〕

【就職】

株式会社シェリール、株式会社ツルハ、住田フーズ株式会社、太平洋セメント株式会社大船渡工場、日本郵便株式会社東北支社、パンチ工業株式会社北上工場（2）、株式会社I J T T北上工場、株式会社チェッカーサポート

（文責：副校長 菅野幸貴）